



発信年月日：令和5年(2023年)7月31日
所属名：東近江農産普及課西部
番号：E23002
部門分類：170(花き)
発信者名：大堀、今城、丸山

東近江地域ユーカーリ栽培現地検討・研修会を開催

現在、東近江地域では、京都の花き卸売市場へ向けたユーカーリの切り枝栽培を推進しています。今後さらに、市場に期待されるユーカーリ産地として産地強化を図るためには、品質・収量の充実とともに、流通や実需との情報共有が重要となることから、7月12日、ユーカーリ栽培現地検討・研修会を開催しました。

当日は、当課と市場・関係機関14名で、東近江地域のほ場を巡回して生育状況を把握し、技術検討を行いました。実生栽培であるユーカーリは形質(葉形や葉色)のばらつきが大きく、品種本来の形質から外れた株の扱いが産地として課題でしたが、区別して出荷することで買い手があることや、買い手がつく形質変異の程度を市場担当者に確認できました。

また、市場担当者からは、樹形管理の際にできる剪定枝をサブスク(花の定期便)用途への活用が提案され、今後の実施に向け、数量把握や高温期の品質維持等の課題について、産地として検討することになりました。

さらに、ほ場巡回の途中で、生産者21名が参加した現地研修も実施しました。当課からユーカーリの切り枝収穫に向けて適切な管理を促すため、病虫害防除や夏期の樹形管理について説明し、加えて、生産者が市場担当者と意見交換できるようにしました。

当課では、引き続き、ユーカーリ産地の強化に向け、市場や関係機関と連携して支援を行います。



ほ場巡回による技術検討



今後の管理について現地研修



産地強化に向け総合討議